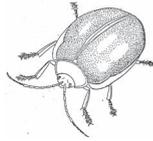


たんぽう



姫路市福泊海岸で得られたアオキツツムネウミハネカクシとハマベゾウムシ

脇村涼太郎

筆者は、姫路市の形町福泊海岸において、兵庫県初記録と思われるアオキツツムネウミハネカクシ、ハマベゾウムシを採集しているため、報告する。標本は全て採集者が管理している。発表にあたり、採集データの発表を快諾いただいた河上康子氏、アオキツツムネウミハネカクシを同定していただいた丸山宗利氏、兵庫県立人と自然の博物館における標本調査に協力いただいた八木剛氏、写真撮影に協力いただいた和田暢也氏、文献、記録についてご教示いただいた今田舜介氏、千田喜博氏、田作勇人氏、辻雄介氏、久末遊氏、藤本博文氏、山地治氏、脇悠太氏に厚く御礼申し上げる。

アオキツツムネウミハネカクシ *Dialota aokii* Sawada, 1971

(図1)

- 32exs., 兵庫県姫路市の形町福泊, 27.V.2018, 筆者採集
- 3exs., 同所, 2.VI.2019, 筆者採集
- 1ex., 同所, 7.iii.2020, 筆者採集

東京都伊豆大島を模式産地として記載された海岸性ハネカクシで、北海道から本州、四国にかけて生息しており、瀬戸内海沿岸では岡山県、香川県、山口県で記録がある(Sawada, 1971; 丸山, 2002; 末長・河上, 2008; 中浜・河上, 2010; 藤谷, 2006)。フジツボやカキ殻の中に生息しており、福泊海岸では岩礁の裂け目や、フジツボを崩し篩にかけることで得られた。



図1 アオキツツムネウミハネカクシの生態写真。

ハマベゾウムシ *Aphela gotoi* (Chûjô & Voss, 1960) (図2)

- 2exs., Matogata, Himeji City, Hyogo Pref., Japan, 16.V.2010, 河上康子採集
- 1ex., 兵庫県姫路市の形町福泊, 11.V.2017, 筆者採集
- 3exs., 同所, 13.V.2017, 筆者採集
- 1ex., 同所, 11.VII.2017, 筆者採集

三重県を模式産地として記載された海岸性ゾウムシで、北海道から本州、四国、九州にかけて分布しており、瀬戸内海沿岸では広島県、香川県、愛媛県で記録がある(森本, 1993; 小阪, 2006; 北川, 2004; 浅野, 2009; 久米, 2014; 脇, 2018; 小川ほか, 2008)。

本種は、砂浜に漂着したアマモ類を宿主としている。アマモ類に強く依存しているため、環境の悪化に影響されやすく、岩手県、宮城県、福島県、千葉県、静岡県、愛知県、三重県、福岡県、長崎県ではRDB掲載種に指定されている(長谷川ほか, 2016; 野生動物調査協会・Envision 環境保全事務所, 2019)。漂着したアマモ類を篩にかけることで得られた。福泊海岸では、多くのアマモ類が漂着していたが、本種の個体数は少なかった。なお、河上康子氏の採集地点は、筆者の採集地点と同一である。

○引用文献

- 浅野真, 2009. 香川県島嶼小豆島の海水浴場で採集した昆虫. へりぐろ, 30:35-38.
- 藤谷美文, 2006. ババチビドロムシの採集記録. 山口のむし, 5:46-47.
- 長谷川道明・金郁彦・大場裕一, 2016. 知多半島で確認されたハマベゾウムシについて. 豊橋市自然史博物館研報, 26:19-21.
- 北川雄士, 2004. 香川県でハマベゾウムシを採集. 月刊むし, 406:5.
- 小阪敏和, 2006. 東広島市の甲虫類(9). 広島虫の会会報, 45:37-48.



図2 兵庫県産ハマベゾウムシ.

- 久米加寿徳, 2014. 屋島のゾウムシ相. へりぐる, 35:25-30.
- 丸山宗利, 2002. 北海道の海岸性ハネカクシ. 昆虫と自然, 37(12):17-21.
- 森本桂, 1993. 海辺の甲虫類概説. 昆虫と自然, 28(11):2-6.
- 中浜直之・河上康子, 2010. 香川県と和歌山県におけるハネカクシ科 *Diaulota* 属 2 種の記録. ねじればね, 127:14-15.
- 小川次郎・栗原隆・瀬島翔馬・酒井雅博, 2008. 愛媛県越智郡上島町赤穂根島の昆虫類 その 2 コウチュウ目 (1). 四国虫報, (41):5-16.
- Sawada, K., 1971. Aleocharinae (Staphylinidae, Coleoptera) from the intertidal zone of Japan. Publ. Seto Mar. Biol. Lab. 19(2/3): 81-110.
- 末長晴輝・河上康子, 2008. アオキツツムネウミハネカクシの岡山県における分布記録. ねじればね, 123:14-15.
- 脇悠太, 2018. 屋島でハマベゾウムシを採集. へりぐる, 39:36.
- 野生動物調査協会・Envision 環境保全事務所, 2019. 日本のレッドデータ検索システム. <http://jpnrd.com/index.html> (閲覧日 2020.02.17)

(Ryôtarô WAKIMURA 兵庫県立相生高等学校)

多可郡多可町中区高岸で得たタマムシ類

松尾隆人

多可郡多可町中区高岸の山中に直径 20cm 程のコナラ伐倒木と粗朶が放置されていた。当地は標高約 150m で周囲はヒノキやスギの植林とアベマキやコナラなどを主体とした雑木林になっている。筆者は 2019 年 5 月末から約 1 ヶ月間、当地で枯材等に集まるタマムシ類の調査を行ったところ、以下の種が得られたので報告する。採集者は全て筆者自身であり、採集データが 3 件以上に及ぶ場合は、2 件目の後に「. ほか」と記載して他データを省略した。なお、学名は大桃・福富 (2013) に従った。

1. アオマダラタマムシ *Nipponobuprestis (Nipponobuprestis) amabilis* (Vollenhoven, 1864)
3. VI. 2019. 1ex.; 4. VI. 2019. 1ex.. ほか
藤色のシヨベルカーから滲み出た潤滑油に飛来した。

2. クロホシタマムシ *Lamprodila (Palmar) virgate* (Motschulsky, 1859)
29. V. 2019. 1ex.; 30. V. 2019. 2exs.. ほか
3. ムツボシタマムシ *Chrysobothris succedanea* E. Saunders, 1873
5. VI. 2019. 1ex.; 6. VI. 2019. 1ex.. ほか
4. オオムツボシタマムシ *Chrysobothris ohbayashii* Y. Kurosawa, 1948
30. V. 2019. 2exs.; 1. VI. 2019. 3exs.. ほか
5. クロナガタマムシ *Agrilus cyaneoniger* E. Saunders, 1873
6. VI. 2019. 1ex.; 9. VI. 2019. 1ex.. ほか
6. ケヤキナガタマムシ *Agrilus spinipennis* Lewis, 1893
9. VI. 2019. 1ex.; 13. VI. 2019. 1ex.. ほか
7. トガリカラカネナガタマムシ *Agrilus madeci* Baudon, 1968
24. V. 2019. 2exs.; 26. V. 2019. 1ex.. ほか
8. シロテンナガタマムシ *Agrilus sospes* Lewis, 1893
3. VI. 2019. 1ex.; 5. VI. 2019. 1ex.. ほか
9. コクロナガタマムシ *Agrilus yamawakii* Y. Kurosawa, 1898
6. VI. 2019. 1ex.; 9. VI. 2019. 1ex.. ほか
カラスザンショウ生木の幹より得た。
10. ウグイスナガタマムシ *Agrilus tempestivus* Lewis, 1893
26. V. 2019. 1ex.; 29. V. 2019. 2exs.. ほか
11. オオウグイスナガタマムシ *Agrilus asiaticus* Kerremans, 1898
3. VI. 2019. 2exs.; 4. VI. 2019. 2exs.. ほか
12. ホソアシナガタマムシ *Agrilus ribbei* Kiesenwetter, 1879
24. V. 2019. 1ex.; 26. V. 2019. 11exs.. ほか
13. クヌギナガタマムシ *Agrilus friebi* Obenberger, 1922
4. VI. 2019. 1ex.
14. ミツボシナガタマムシ *Agrilus trinotatus* E. Saunders, 1873
4. VI. 2019. 1ex.; 9. VI. 2019. 1ex.